



神奈川県

県土整備局 河川下水道部 下水道課

神奈川県流域下水道中期ビジョン (平成30年度取り組み実績)

令和2年7月

◇ 効率的な下水道整備

施策	流域名	施設名	目標	平成30年度実績
下水道システムの効率化 (汚泥処理施設の集約化)	酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	集約化の取り組みを進めます。	汚泥処理施設集約に向けた計画について引続き検討しました。
幹線管渠の整備 (箱根小田原幹線の整備)	酒匂川	箱根小田原 幹線	早期の供用開始を目指します。	全体計画(L=9.2km)のうち、幹線管渠2-2工区(ミニシールドφ1,000mm、L=1.7km)等の工事を進めました。



発進立坑防音ハウス



ミニシールド推進機

酒匂川流域下水道(箱根小田原幹線) 管渠築造工事(2-2工区)

◇ 地震対策の推進

施策	流域名	施設名	目標	平成30年度実績
防災対策の効率的実施	相模川	左岸処理場 右岸処理場	改築更新に合わせるなど、より効率的に耐震化を図ります。	第一分水槽の耐震工事等を進めました。(相模-左岸) 沈砂池ポンプ室の耐震工事を行いました。(酒匂-左岸)
	酒匂川	左岸処理場		
下水処理場のネットワーク化 (寒川平塚幹線の整備)	相模川	寒川平塚 幹線	整備の推進を図ります。	事業化に向けた調査を進めました。
防災対策と減災対策の一体的取り組み	相模川 酒匂川	—	B C P(事業継続計画)を策定し、防災対策と減災対策の一体的取組を進めます。	平成25年度に策定したB C Pへ津波浸水想定を追加する検討を進めました。



相模川流域下水道(左岸処理場) 第一分水槽耐震工事 (別位置へ施工)

◇ より質の高い処理水質の確保

施 策	流域名	施設名	目 標	平成30年度実績
処理水質の安定化	相模川	右岸処理場	処理水質の安定化に向け施設の改良を進めます。	処理水質の安定化について引き続き検討しました。

◇ 地球温暖化対策

施 策	流域名	施設名	目 標	平成30年度実績
省エネ機器の導入	相模川	右岸処理場	省エネ機器の導入により、更なる消費電力の抑制を図ります。	省エネ型の高効率汚泥脱水機工事を進めました。
汚泥処理過程における取り組み	相模川	右岸処理場	先進技術の導入により、大幅な排出量削減を図ります。	先進技術を導入した汚泥焼却炉を設置しました。 (北系3号焼却炉)
新エネルギーの導入	相模川	右岸処理場	太陽光発電設備の更なる導入により、温室効果ガス排出量の削減を図ります。	平成25年度に太陽光発電設備工事を完了しました。



相模川流域下水道(右岸処理場)汚泥脱水機工事



北系3号焼却炉

相模川流域下水道(右岸処理場)汚泥焼却炉設置

◇ 資源・エネルギーの循環

施 策	流域名	施設名	目 標	平成30年度実績
処理水の有効利用	相模川 酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	処理水の需要の把握に努めるとともに、相模川流域下水道においては、サテライト処理など技術開発の動向を注視していきます。	焼却設備の冷却水等に引き続き処理水を利用しました。
汚泥の有効利用	相模川 酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	汚泥の恒久的かつ効果的な有効利用を検討し、資源循環とリスク分散を図ります。	下水汚泥の有効利用について引き続き検討しました。
下水エネルギーの有効利用	相模川 酒匂川	—	調査・検討を行っていきます。	下水エネルギー技術の情報収集を引き続き行いました。

◇ 計画的・効率的な維持管理

施策	流域名	施設名	目標	平成30年度実績
長寿命化対策	相模川 酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	長寿命化計画を順次策定し、計画に基づき対策を推進していきます。	平成27年度に長寿命化計画(H28-H33)を策定しました。
計画的な改築更新	相模川	左岸処理場 右岸処理場	施設の重要度などを踏まえ、事業費の平準化を図ります。	汚泥濃縮機等の改築工事を進めました。(相模-左岸)
	酒匂川	左岸処理場		送風機設備の改築工事を進めました。(酒匂-左岸)
雨天時対策	相模川	左岸処理場 右岸処理場	流域関連市町が実施する対策の進行管理と既存施設を活用した施設整備等により事故防止に努めます。	流域関連市町の雨天時浸入水対策の実施状況等を引続き確認し、市町が雨天時浸入水が多い箇所の調査、対策工事を協定に基づき行いました。
	酒匂川	左岸処理場 右岸処理場		流域関連市町の雨天時浸入水の現状について確認するとともに、相模川流域での取り組み状況の共有を行いました。
臭気対策	相模川 酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	引き続き状況把握に努めるとともに、今後とも十分な臭気対策を実施していきます。	臭気の抑制に引き続き努めました。



酒匂川流域下水道(左岸処理場) 送風機設備の改築工事

◇ 事業運営の継続性の確保

施策	流域名	施設名	目標	平成30年度実績
下水道運営に必要な知識の確保・継承	相模川 酒匂川	—	研修会等の充実と積極的な参加に努めます。	下水道運営に必要な知識の確保のため、研修会等に参加しました。
下水道運営の効率化	相模川 酒匂川	左岸処理場 右岸処理場	更なる下水道運営の効率化に努めるとともに、包括的民間委託の導入について検討します。	平成26年度に酒匂川流域下水道右岸処理場にて包括的民間委託を導入しました。